

本時のねらい

- ・職業体験に臨むにあたり、どの事業所を選ぶのかの参考になるよう、自分の特性を知る。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・1人1台端末で「13歳のハローワーク」を検索し、自分のタイプを調べる。その内容をロイロノートにまとめて共有する。これらの作業を通して仕事に対する自分の考えを深める。
- ・自分の価値観を知ることができる、「価値観チェックリスト」(<http://l-w.jp> から引用)にも記入し、自分が大事にしたいことを明確にすることで、事業所選びの基準にする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

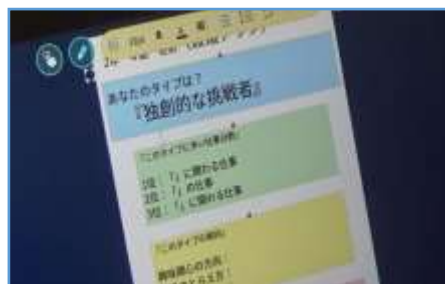
- ・授業支援ソフト(ロイロノート) ・大型モニター ・「13歳のハローワーク」(仕事や社会について調べることができるサイト。質問に答え、自身の傾向などをタイプ別に表示する機能もある。(URL : <https://www.13hw.com/home/index.html>))

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○職業体験に取り組むまでの流れを、大型モニターに表示し、全体の見直しをもつ。【写真1】	・本時の授業の目的などを伝える資料は、ロイロノートで作成しているため、生徒のChromebookにもデータを共有する。
展開 (40分)	○「13歳のハローワーク」にアクセスし、表示される質問に答え、自身のタイプを確認する。 ○「13歳のハローワーク」に表示された情報を読み取って、ロイロノートにまとめ、提出する。【写真2】 ○端末上で、「価値観チェックシート」に取り組み、自分が大切にしたいことなどを明確にする。【写真3】	・自分のタイプが正確に反映されるように、周りの人の取組みを意識せず集中して入力するよう伝える。 ・ロイロノートを用いての入力に困っている生徒には、教員が声をかける。もしくは、近くの生徒に自分から聞くように声をかける。
まとめ (5分)	○授業の振り返りを行う。	・次回以降も今回作成した自分のタイプを使った授業が続くため、ロイロノートに、自分のタイプ等をまとめる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】大型モニターを用いて、前年度の学習内容を振り返っている様子。



【写真2】自身のタイプを、ロイロノートを用いてまとめている様子。



【写真3】「価値観チェックシート」にチェックをつけている様子。

児童生徒の反応や変容

- ・「規律ある遂行者」や「世に尽くす情熱家」など、キャッチーなコピーのタイプ名が表示されることで、生徒たちは大変興味をもつことができていた。また、その下に表示される実際の仕事分野を見ると、候補の事業所と照らし合わせることができるようになっていて、参考になったという声を聞くことができた。
- ・「仕事をしてみたい。」と感じている生徒が多くいる中、実際にどのような仕事があるのかと聞かれると、反応が薄い生徒たちであったが、今回の授業で、自分たちの生活と仕事結びついていることを意識する生徒が多かった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・アンケートの集約にロイロノートを使うことで、その場でアンケート結果を集約でき、リアルタイムで授業に生かせることができた。
- ・1人1台端末を活用して、自分のタイプを簡単にまとめられるため、授業内で自分の知らない面に気づくことができていた。